

## 令和6年度第2回東成区教育会議 議事録

### 1. 開催日時

令和7年3月6日(木) 19時00分～20時20分

### 2. 開催場所

東成区役所 3階 304・305 会議室

### 3. 出席者

(1) 委員：12名

(2) オブザーバー（学校長）：2名

(3) 東成区役所：8名

#### 【会議内容】

○村田教育支援担当課長代理

皆さんこんばんは。定刻を過ぎておりますが、ただいまから令和6年度第2回東成区教育会議を開催させていただきます。

本日はご多用中にもかかわらずご出席いただき、誠にありがとうございます。私は、本日司会をさせていただきます、教育支援担当課長代理の村田でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

着座にて進めさせていただきます。

この東成区教育会議は、東成区が所管する教育の振興や関連する施策及び事業の参考とするため、児童・生徒の保護者であるみなさまのご意見をお伺いすることを目的にしております。

したがって、「各学校の運営」に関しましては、学校協議会等の場で意見交換をお願いできればと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

この教育会議は原則公開の会議で、一般の方の傍聴や報道機関の取材が可能となっております。また、本日の会議内容は、区役所のホームページ等で公開する必要があることから、録音させていただきます。

開催時間は、8時半終了予定とさせていただきます。短い時間となりますが、よろしくお願いいたします。

なお、携帯電話・スマートフォン等は電源をお切りいただくか、マナーモードにしてくださいようお願いいたします。

それではまず開会にあたりまして、東成区 御栗区長よりご挨拶申し上げます。

○御栗区長

皆さん、こんばんは。区長の御栗でございます。本日もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。私も在任4年目になりまして、今月末を持ちまして退任する形になっております。東成区教育会議は私が着任してから保護者のみなさまのお声をダイレクトに聞く場がないということで、新設させていただきました。年2回開催させていただいて、色々な子どもたちへの東成区の施策についてご説明等差し上げたり、みなさまからご意見を聞かせていただいて、それを反映させて、現在に至っている状況であります。今日の教育会議は来年度予算等の説明がありますので、みなさまから忌憚のないご意見をたくさん聞かせていただければと思っております。本日もよろしくお願ひいたします。

○村田教育支援担当課長代理

ありがとうございます。

それでは次に、本日の出席委員のみなさまのご紹介ですが、今年度第2回目ということもあり、お配りしております名簿と配席図でご確認いただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。

それでは次に、先生方のご紹介でございます。

本日、本庄中学校 近藤校長先生と、中本小学校 堀川校長先生にお越しいただいております。どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは最後に区役所担当職員から自己紹介させていただきます。御栗区長は先ほどご挨拶いただきましたので、平田副区長からお願ひします。

【職員 挨拶】

それでは、次にお手元の資料のご確認をお願いいたします。

- 1.配席図
- 2.東成区教育会議委員名簿
- 3.東成区教育会議の資料（ホッチキス止め）
- 4.課外学習事業と生きる力育み事業のチラシ
5. ひがしなり未来会議新聞 第1号

課外学習事業の塾のチラシ2枚、生きる力育み支援事業のチラシ2枚

以上となりますが、お手元にお揃いでしょうか。

不備等ございませんでしょうか。

それでは議事を進めてまいります。お手元の東成区教育会議資料、ホッチキス止めをしている資料をご覧ください。表紙の下部分に、本日の次第がございます。ただいま「2」まで進んでおりますので、次に「3」の「令和7年度 東成区教育関連事業の取組について」をご説明させていただきます。ページをめくっていただきまして、ページの上の部分ですが、こちらは取組状況の一覧表となっております。これから個別にご説明をいたしますが、事業につきましては一括でご説明させていただきますので、ご意見ご質問は説明終了後に挙手していただいたのち、こちらの方で指名させていただきます。ご発言前には学校名とお名前を言っていただきましてご発言をよろしくお願いいたします。

それでは、資料に沿ってご説明させていただきます。

まずページの上部分をご覧ください。「①電子書籍を活用した読書活動推進の取組」についてご説明させていただきたいと思っております。この事業につきましては、小中学校向けの電子書籍読み放題サービスを導入いたしまして、学校と連携しながら、児童や生徒へ配付されている学習者用端末等を活用して読書環境の整備を図ることで、子どもたちが読書に親しむ機会を提供し、読書習慣の定着を支援するという事業でございます。

そしてページの下部分をご覧くださいまして、今年度につきましては対象を小学5、6年生、そしてやはり勉強で忙しいためかニーズが低いという状況に合わせまして、中学生は「希望者のみ」にIDを配付しておりましたが、各中学校から、1学年相当数ある方が活用しやすいとのご意見をいただきましたので、来年度につきましては中学校には「1学年相当数」の利用者IDを配付し、読書活動の推進を図ってまいります。

区政会議などでも読書習慣の定着に向けた取組は大切であるという意見をいただいているところでもありまして、来年度も引き続き取組を進めてまいります。

続きまして次のページの上部分、「②民間事業者を活用した課外学習の取組」についてです。この事業は基礎学力の向上と学習習慣の形成を支援するため、学習塾などの民間事業者と連携しながら、放課後の学校施設を活用して課外学習の場を設置し、子どもたちの自主学習を支援する事業です。習い事、塾代助成事業を活用すれば実質無料で受講いただける形となっております。現在、株式会社トライグループと協定を締結しておりまして、令和6年度につきましては区内3か所の中学校と大成小学校、東中本小学校、片江小学校、神路小学校、宝栄小学校の5校におきまして実施いたしました。

また、来年度からは株式会社イングとの協定となりまして、中学校は玉津中学校、小学校は今里小学校、北中道小学校におきましても、放課後の学習支援を行ってまいります。お手元にチラシをお配りしておりますので、ご参照いただければと思います。

それでは続きまして「③習い事等を通じた子どもの生きる力を育む取組」についてです。「誰ひとり取り残さない社会」の実現に向けて、児童生徒が健やかに成長し、様々な活動を通じて、自らの可能性等を認識しながら、自分らしく生きる力を身につけることができるよう、学校施設を利用した様々な習い事を実施し、「心の居場所づくり」に取り組むものです。

教室を開催させていただくにあたりまして、直前にご説明しました課外学習事業と同様

に民間事業者と協定を結び、習い事・塾代助成事業も活用いただける形としております。こちらの事業についてはNPO法人の志塾フリースクールと協定を締結しており、来年度も引き続き実施してまいります。開講場所は中道小学校と中本小学校、開講メニューは表のとおりとなっておりますが、学習支援は小学生のみ、それ以外の習い事は中学生も受講いただけるようになっております。

資料をめくっていただきまして、「④子どもの国際理解を育む取組」についてです。例年、取り組んでいる事業ですけれども、児童生徒の国際理解の推進のため、独立行政法人国際協力機構（JICA）と連携し、各小中学校において、海外ボランティア経験者、海外留学生等による出前講座を実施しております。今年度は7校、延べ15回行いました。外国人講師出身国につきましては、記載しておりますような国々の方々に講師をしていただいております。

また、今年度からの新たな取組としまして、近年、急増している帰国・来日等の児童や保護者にかかる施策として学校教育等に活用いただくための翻訳機、商品名で言いますと、ポケトークのような機械です。そちらを購入し、必要とする学校へ貸与する取組も行っております。来年度も引き続き出前講座や海外技術研修員との交流を行い、翻訳機の台数については増やしていく予定でございます。

次にその右側のページ、「⑤子どもの情報モラルを育む取組」でございます。「インターネット、特にSNSにおける誹謗中傷などのトラブルが発生しており、学校及び地域団体と連携して作成した人権啓発冊子を活用し、啓発を実施。」ということで、資料にあります3種類の冊子、左側が小学校低学年用、真ん中のものが小学校高学年用、右側が中学生用ということで、それぞれの学齢期に合わせた内容で子どもたちが社会のルールや自分の安全を守りつつ、ネット・スマホの善き使い手になることができるようにと作成した啓発冊子でございます。各学校で、ご活用いただいております。資料に掲載しておりますQRコードを読み取っていただきましたら、東成区のホームページにつながりましてご覧いただけるようになっております。

来年度につきましては、インターネット利用を開始する年齢が低年齢化していること等を鑑み、家庭におけるデジタルリテラシー教育の支援を目的として、主に未就学児の保護者に向けた啓発冊子（デジタル版）を作成いたします。

次のページに移りますが、「⑥平和学習の取組」でございます。昨今の戦争体験者の高齢化などによる戦争体験の風化や若い世代を中心とした平和意識の希薄化といった課題に目を向け、平和に対する意識の風化を抑え、戦争の悲惨さや平和の大切さを学ぶ取組を実施しております。今年度につきましては、中学校では、国境なき医師団の一員として紛争地で活動されていた方を講師として招き、平和の大切さや世界に目を向ける大事さなどについて講演をいただきました。また、小学校6年生の児童を対象に、大阪府遺族会代表などの語り部による戦争体験談や、東成区内の身近な戦争遺産等を収録したDVDを利用した平和学習を実施いたしました。

次に右側のページ、「⑦子どもの体力向上に向けた取組」でございませう。これまで、児童が運動に意欲的に取り組むきっかけづくりとして学校と連携し、小学5年生を対象に、春に実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果や3学期に再度実施するシャトルランの結果をもとに運動を頑張っている児童へ表彰を行う取組を実施してまいりましたが、今年度はそれに加えて中学生も表彰をさせていただくことにしまして、春に実施する「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、各種目で新記録を樹立した生徒に対して東成区長から「東成区新記録認定証」を贈呈する取組を開始しております。表彰実績につきましては資料の下部分をご覧ください。来年度も引き続き表彰を実施し、子どもたちのやる気を喚起させ、互いに各種目の留意すべき点を紹介し合うなど、児童・生徒が運動へ積極的に取り組むきっかけとしていきたいと考えております。

続きまして次のページをめくっていただきまして、「⑧工場見学等ものづくりの魅力に触れる取組」でございませう。工場見学やものづくり体験など、子どもたちがものづくり企業と触れ合う機会を提供することで、ものづくりへの興味や関心を喚起し、将来の進路を考えるきっかけづくりといたします。令和6年度実績としまして、1月に東成こどもモノづくり体験フェスタを開催し、376名の小学生と保護者に参加いただきました。また、3月下旬には区内企業5社の工場見学会を予定しています。来年度も引き続き、体験イベントや工場見学を実施して子どもたちがものづくり企業と触れ合う機会を提供いたします。

次のページにまいります。「⑨子どもの人権意識を育む取組」としまして、子どもたちやその保護者が誰もが生まれながらにして持つ普遍的な権利である「人権」について考えるきっかけとして、人権映画会「ヒューマンライツファミリーシアター」を開催しております。今年度は12月に「ワンダー 君は太陽」という映画を上映いたしました。引き続き来年度も、子どもたちが人権を考えるきっかけとなるような取組、例えば、映画会開催などを実施してまいります。

次はページの下部分になります。「⑩不登校の改善及び防止に向けた取組」ということで、区内小中学校及び子育て支援室へ心理学等の専門家を派遣し、支援者への助言指導を通じ、一人一人の状況に応じた教育環境整備や必要な支援の導入のため機関コンサルテーションを実施し、不登校の改善や未然防止に努めてまいります。派遣する専門家は、梅花女子大学心理こども学部心理学科の教授や准教授の方々です。今年度の実績としましては、学校訪問による助言指導34回、ケース検討会議における助言14回、関係機関向けスキルアップ研修1回となっております。

その次のページにまいります。最後になりますが、「⑪学校園と連携したSDGs推進の取組」でございませう。学校園におけるSDGs宣言、万博の機運醸成とSDGsをテーマにした絵画コンクールの実施、大阪成蹊大学芸術学部との協働によるSDGs学習教材の製作、東成区の未来について各中学校の代表の中学生が区長と意見交換する「ひがしなり未来会議」を開催しており、来年度も引き続き実施してまいります。なお、「ひがしなり未来会議」につきましてはお手元に資料「未来会議新聞」をお配りしておりますので、ご参照いた

できればと存じます。

ずいぶん駆け足になりましたが、事業の取組状況につきましては、以上でございます。区長からコメントや補足などありましたら、よろしく申し上げます。

#### ○御栗区長

何点か補足させていただければと思います。ページ番号3の電子書籍について、この場で何度もお話させていただいておりますけれども、東成区独自の取組になっております。導入当初は一人一台端末が配備されたコロナの環境下で取組を始め、学校休業が続いていたタイミングで導入させていただきました。現状、利用率は厳しい状況になっております。もっと使っていただきたいと思っております。配信IDが5年生・6年生になっておりますが、今年1月からいきいき教室においても学習者用端末が使えるよう整理されました。電子書籍もそうですしデジタルドリルや自主学習用の色々な調べもの等使いやすくなっておりますので、一人一台端末を使ってもらって、子どもたちの色々な学習が進んでいくかなと思っております。

それから、5ページ目の課外学習についてです。塾もずいぶん増えてまいりまして、いよいよ来年度4月から玉津中学校でも開設していただけるようになりましたので、区内4中学校全て揃いました。これまで玉津中学校の生徒は他の3中学校へ行かざるを得なかったのですが、校長先生に頑張っていただきまして玉津中学校でも実施できるようになりましたので、中学校に関しては4中学校で実施します。小学校に関しましては、来年度、今里小学校・北中道小学校等増えた学校もありますけれども、8ページのところで学習支援、中道小学校・中本小学校につきましては、その学校限定ではありません。実施できていない東小橋小学校と深江小学校につきましては、教室の関係等でどうしても厳しいという状況があり、実施出来ていないですが、東小橋小学校の児童が中道小学校へ通っていただいたりしておりますので、そのような形でどの学校の児童でも通える状況になっております。みなさまにお願いしておきたいことがございます。中学校はどの学校でも10名を超えるような参加があるのでそれなりに実施できておりますが、各学校ごとに開設しますと、利用者があまりに少ないと事業者側の経営が厳しくなり、実施できないという話になってくるのが予想されます。東成区の場合は、沢山の学校で多くの子どもたちが参加してくれているので、事業者から辞めさせてほしいという話はありませんが、他区では事業者が撤退しているケースもあります。特に5年生6年生には是非、塾代助成を活用していただきますと、無料で参加できるようになりますので、是非ご利用をお願いしたいと思います。こちらは、学校施設を使うという点と事業者側が基本的に広告・宣伝をしなくて良く、その学校の児童が限定という形になっておりまして、各学校へお願いをしております、学期末の懇談の際や「ミマモルメ」を活用して、5年生6年生の保護者限定でメールを送付していただいたりしております。通常の学習塾の教室経営になりますと、良くご覧になられていると思いますが、新聞チラシを入れたり、塾側で色々工夫して塾生を集めないといけません、その辺りの経費コ

ストが掛かっておらず、場所も学校を使いますので、部屋代も払わなくてよく、それなりの内容のことをお値段安く各学校施設を使って、提供できる形になっておりますので、是非ご活用いただければと思います。7ページ、8ページの学習支援以外のダンス、デザインや作画など受講生がなかなか増えない状況にはなっておりますが、こちらも是非ご参加いただければと思っております。

12ページについて、補足もありましたけれども、小学校の低学年、高学年、それから中学生という事で、冊子をかなり時間もコストも掛けて作らせていただいておりますけれども、昨今の状況をみますと、小学校の校長先生たちとお話をさせていただきますと、小学校1年生に上がってきた段階で、スマホやiPad等に慣れ親しんだ状態で進学してくる。たまたま気が付いたのですが、ラグビーのレッドハリケーンズ大阪が出前授業を小学校・中学校で一生懸命実施してくださっていたのですが、「もっと行きたい」とのことでしたので、幼稚園で何かできないかということ伺うと、「幼稚園でもできますよ」と言うことで、小さいラグビーボールがあるので、ラグビー教室はできますとのことでした。幼稚園の園長先生と意見交換した際に、ラグビー教室もありがたいが、幼稚園の保護者から、動画を見せたり色々するとき家庭の中でのルールの作り方や子どもたちへの声掛けの仕方などに困っているという話がありました。レッドハリケーンズは母体がNTTドコモになっていることもありますので未就学児童の保護者用の講演を練ってくださって、実際に北中道幼稚園と今里幼稚園で実施していただきました。保護者の方の評価も非常に高く、非常に良いものできています。来年度の予算取りもしておりますので、すでに完成している3部作と同様の形で、専門家にも入っていただいて、幼稚園の園長先生、幼稚園の先生、保護者の方にも入っていただいたうえで、このような形でデジタル冊子を作り上げていきたいと思っております。小学校の2冊と、中学校の1冊は児童生徒へ配付するのがメインになっておりますので、紙媒体の冊子で作成しております。未就学児童用は完全に保護者向けになりますので、紙媒体では必要ないかなということで、デジタル版で作成する予定になっております。こちらも24区の中で独自の取組となっております。区長会議のこども教育部会でも、児童生徒のスクリーンタイムが長くなってきており、そこに問題意識もあり、それに対して色々な手立てを考えていかないといけないという流れの中で、未就学児童に焦点を当ててこのような取組を行うのは区独自にはなりますけれども、そこで作り上げたものを全市的に使ってもらえるように情報を流していきたいと思っております。出来上がってくれば、この場でまたご披露させていただいて、みなさまのご意見をいただければなと思っておりますので、よろしくお願いたします。

それから14ページの平和学習の取組についてです。今年度中学生に関しては、国境なき医師団に初めてお声がけして、生徒のアンケートを見ても非常に反応が良く、学校の先生方のアンケートもすごく良く、4校それぞれに講師を派遣していただきました。医師団という名前が付いているので、医療関係の講師が来てお話をされるのかと思っておりましたが、医師団を支えている職員がたくさんおまして、医療関係の方は半分もいないようです。裏方

さんなどたくさんの方が居ます。4中学校でも、お医者さん、看護師さん、助産師さん、物流関係と言いますか、物資の供給などを行っている方にお越しいただいて、どの講師も非常に良いお話をしていただいで、大変好評でした。半分は平和学習で、講師のみなさまは紛争地に行かれておりますので、平和の大切さをお話いただき、残り半分はキャリア教育ということで、どうして講師の方が国境なき医師団のお仕事に就いたのか、やりがいであるとか語学学習の大切さ、海外の方との英語によるコミュニケーションの大切さ等、様々なお話をしていただいで、非常に良かったので来年度も国境なき医師団にお願いさせていただき、職種が被らないように各4中学校へ派遣させていただければなと思っております。

また小学生向けの平和学習について、令和7年度は、区制100周年や万博に加えて、もう1つ大事なのが戦後80周年の節目の年になるということです。東成区に大阪府遺族会の代表の方がおり、常に意見交換をさせていただいております。年齢も上がってきて語り部活動の実施も難しくなっている状況ではありますが、DVDを完成させたいとおっしゃっておられます。単純に平和は大事で、戦争は大変だということだけではなく、戦後の焼け跡からの復興が本当に大変だったというところをもっとしっかり伝え残すようなものを作り上げたいとお話もありましたので、その辺りも含め、来年度予算取りをしておりますので、戦後80年しっかり振り返ったうえでの、DVD教材をしっかり作り上げていきたいなと思いい準備をしている状況です。

それから、15ページ、16ページの体力向上について、中学生の表彰を今年度初めて実施させていただきました。校長先生とお話させていただき、沢山褒めるというより、新記録を褒めてほしいとのご要望もありまして、今年度は8種目の新記録を出していただき、表彰を実施させていただいております。来年度は、新記録だけとなると表彰件数がかなり減りますので、小学校と同じように各種目上位3位まで表彰するのか等については、校長先生方とご相談させていただいたうえで、各種目の1番の生徒に関しては表彰する形が良いのではないかな等、検討中ではありますが、良い形で実施できればと思っております。

それから、19ページについて、映画の上映が中心になっております。今年度の映画も良かったですし、昨年度の京都アニメーションの「聲の形」と同様に良かったと思います。同様の形で、良い作品を選定して上映会ができればと思っております。

20ページの不登校の改善の部分の梅花女子大学の専門家を派遣するという取組ですが、これも東成区独自の取組になっております。こども青少年局の重点予算を3年間いただいで、専門家の先生を派遣する形で実施させていただいております。各学校ごとに助言の必要度合いは違います。発達面の課題など色々ありますが、心理学の観点で言いますと、愛着障害などの違う観点からの助言をいただけるということもありますので、本当に必要としている学校にとっては非常に有用な沢山の助言をいただいでいるかと思っております。個別に先生方と良い関係を作っていただきますと、大学院生を毎週派遣していただけるような関係ができたり、良い関係で展開していただいておりますので、来年度も引き続き行っていただければと思っております。

21 ページ、最後になります。絵画コンクール、本当に沢山ご応募いただいております、昨年度が約 400 件でしたが、今年度は 600 件を超えましたので、来年度も同じように実施していければと思います。来年度は万博が始まっておりますので、万博の思い出であるとか、区制 100 周年に絡めた作品を募集させていただければと思っております。それから、「ひがしなり未来会議」ですけれども、3 年生が短い期間ではあったのですが、防災の部分で非常に良い提案を沢山していただきましたので、彼らの提案をそのまま活かす形で、区の行政の施策の中に織り込んで行っています。例えば、防災関係と関わりたいとの要望が中学生からありましたので、中学生に避難所開設訓練に来ていただいたりとか、あとは、ボランティア活動をやりたいとの声もございましたので、4 中学校それぞれに地域の掲示板を作っただけで、それを活用し地域のボランティア募集というようなことも実施させていただこうかなと思っております。本当にすごいなと思うのが、2 月に本庄中学校の 3 年生が地域ボランティアで地域の清掃活動を実施したいということで頑張ってくれました。本当に中学生の行動力は素晴らしいなと思っております。「ひがしなり未来会議」2 期生ということで中学 2 年生をメインに、今回は警察署長とともに交通安全をテーマに生徒のみなさまで学校ごとに話し合いをしていただいて、最終、区長と警察署長あてに提言していただきたいなということで活動しております。当然、交通安全以外のテーマも、1 期生のボランティアもそうですけれども、こういうのがやりたいとこのことがありましたら話をさせていただいたうえで、区政に反映させていただければなと思っておりますので、非常に期待しております。駆け足になりましたけれども以上になります。

#### ○村田教育支援担当課長代理

それではみなさまご意見ご質問等を踏まえてお聞きしていきたいと思っております。今後についての要望などでも結構かと存じますのでご意見ご質問がある方は挙手をお願いいたします。

いかがでしょうか？

#### ○委員

こちらの「ひがしなり未来会議」とても素晴らしいと思っております。ジュニア防災リーダーの取組とあるのですが、コロナ禍でかなり薄れてしまった印象はあるのですが、具体的に今どのような状況で活動しているのか知りたいです。

#### ○御栗区長

大成地域で地域を上げて、毎年学校から募集をされて、毎年 10 名程度だったと思っておりますが、その児童を対象に地域で色々活動されているというのはあります。玉津中学校に大成地域の児童は進学しますので、玉津中学校でジュニア防災リーダーのようなチームを作りたいというような話があるかなと思いましたが、現時点では特に発展はしていません。

も災害が発生した時に中学生も小学生もそうですけれど、未成年ですので、彼らが救助活動を行うとかは現実的ではないと思います。我々が彼らに期待しますのは、未来会議でも彼らにお話ししたけれども、発災した際に先頭に立って救助活動を行うのではなく、まずはご自身の安全確保、それから家族の安全確認であるとか、自宅に住み続けられるかどうかを確認してもらう。それらを確認していただいたうえで、地域のボランティアに行ってくださいと、小学校なり中学校なり地域の会館なりに行ってください、手伝えるものは沢山ありますので、そこへ行ってくださいという話をしております。先ほど、途中で中学校の避難所開設訓練に参加できる生徒は来てくださいというお話をさせていただいているという話はしましたけれども、中学校ごとに毎年防災の訓練を地域と共同して実施していただいているのですが、それにプラスアルファでももう少し詳しく知りたいという生徒もいらっしゃいますので、そのような生徒に対し何ができるのかというのを考えた際に、それであれば中学校の避難所開設訓練、年に1回実施しておりますけれども、そこに参加していただければ、中学校下地域の防災に関係しているメンバーの皆さんが全員集合しております。私も、本庄中学校の訓練に行きましたけれども連長さんをはじめ全員集合して下さってございましたので、そこへ中学生が参加して避難所の立ち上げの訓練を行う。地震が起こった際に、自らの中学校がどのような状況になるのかを見ていただく目的があります。そのような意味で、避難所開設訓練へ参加する場を設けました。決して中学生のみなさんに避難所を立ち上げてくださいというのは望んでおりません。立ち上げるのは地域の皆さんに立ち上げていただいて、その後ボランティアで参加してくださいということです。避難所は、総務班や情報収集班であるとか、移動班や給食の班、清掃班と5つの班があります。5つの班があるのか、中学校にはここに備蓄倉庫があるのか、発災した時はこの教室が災害本部になるのかなど、そのような事柄を勉強していただくということです。

#### ○委員

あくまでも対象は中学生ということでしょうか。

#### ○御栗区長

ここで言っているのは、そのような感じになっております。ただ、未来会議で玉津中学校の2年生が発言してくれましたけれども、「不安です。防災で先頭に立って何かやれと言われても、大人の指示に従います。」という生徒も多いと思います。それは本当だなと思います。いい格好してというのは言い過ぎですけれども、先頭に立ってやります！という生徒も一定数はいますけれど、本当に被災した際にやはり不安だと思います。それも確かにそのとおりであると思います。ただ、我々としましては知識を付けて欲しいのと、将来につなげていきたいので、中学生は永遠に中学生ではありませんので。そこで自らの中学校の避難所開設訓練を実施しますので、そこに興味・関心がある生徒は来てくださいというのが1つと、

参加してくれた生徒には、研修を別建てで行っておりまして、地域の方が避難所開設訓練を実施している横で、見ているだけでは意味もないので、生徒は違う場所に行ってもらって、学校で行っている訓練よりも少し高次元、違う次元の訓練を実施させていただいたりしております。その研修が終わった生徒には、終了証ということで、区長名と消防署長名の連名での証明書をお渡ししております。彼らには、本当に期待しており、成長していても色々参加して欲しいです。また、今年度卒業される皆さん4中学校にお願いして実施しておりますのは、「東成防災 LINE」チラシの配付です。スマホを皆さんほとんど持っておりますし、LINE も使いこなしておりますので、中学生の皆さんに防災 LINE の登録をお願いしようかなと思っております。月2回くらいは、「防災講演会を実施しました」や実際に大雨や台風など発生した際には区役所4階の市民協働課で、「東成区災害対策本部を立ち上げました」などの情報が発信されます。月2回程度発信されますので、登録してくれば、そのタイミングで防災知識、このような動画をアップしましたとか、講演会資料を掲載しました等発信しておりますので、高校1年生になっても勉強してねというのは意識付けをしたいということで、今年度の卒業式のタイミングで中学校に協力していただいて、卒業生全員に防災LINEを登録してくださいというチラシを配付するようにしております。先ほど申し上げた個別の研修にも参加してくれた生徒に関しては、2年生が多く、今年度卒業される生徒は2〜3名ほどしかいませんが、そのような生徒向けには、消防署と連携しまして、年に1回くらい学校に協力していただき、対象生徒にご案内させていただき集まってもらおうかなと思っております。将来的にそのような生徒たちがジュニア防災リーダーみたいな位置づけになって、地域の防災リーダーになってくれれば嬉しいなど、少し息の長い話ではあるのですが、考えさせていただいております。はっきり言って、行政で「ジュニア防災リーダー組織立ち上げました」と言って、「各中学校30名ずつ入れてください」と言っても、まともに機能しないと思うので、私の考え方でもありますけれども、未来会議を通して、子どもたち自身がやりたいと言ってくれており、やりたいと言っている子どもたちを中心に組織にしていくところを目指して実施したいなと思っております。皆さん、ジュニア防災リーダーがあったら良いよなと思われていますが、他区で実施している区もありますが、ヘルメットを配って終わりということもあり、魂が入っていない組織もたくさんあります。

○委員

名前は昔から聞いているので、どのような活動をしているのかわかりませんでした。

○御栗区長

今里地域も昔実施していたという話は聞いたことがあります。今は行っていないと思います。

○委員

地域と合同で毎年災害避難訓練を実施しているのですが、もし小学校 6 年生とかもジュニア防災リーダー、まだ小学生の間はリーダーとか好きだと思うので、ちょっとできたらいいのかなと思いました。ありがとうございました。

○村田教育支援担当課長代理

ありがとうございました。他にご意見、ご質問等はいかがでしょう。

○委員

何点かご質問させていただきます。3 ページの電子書籍の件ですが、先ほど区長もおっしゃっていましたが、なかなか浸透していかないという話もあり、先週 PTA の役員会で、本日、学校協議会でした。校長先生が電子書籍の話をされており、試験などで文章を読み込んでいく力が必要になり、中学校になるとどんどんどんどん重要視されていく中で、やはりここは課題であるという話でした。スクールライブラリーの話もおっしゃっていましたが、なかなか活用は出来ていない。これもあったらすごく良いかもしれないですけど、当然機能の問題もあるかもしれませんし、それをどう、子どもたちが、生徒たちが、読むのかという、踏み込みをどうするのかというのも課題なのかなと思っております。今後その部分も、当然ツールを出すというのもあるけれども、使い方やそれについてどういうふうにしていくかまでちょっと取り組んでもらえたらなと思います。

それと、塾の件、習い事の取組です。中学校は良いという話を聞いておりましたが、東陽は少ないという感じで心配していました。他に全体で良いのであればいいのですけれど。中学校と小学校の資料を見ていましたが、コマ数で言いますと中学校は週に 4 コマで、小学校は週に 2 コマで金額は一緒だったので、それは運営されるところが大変というのもあるのだろうけれども、親御さんはどう思っているのか、私が間違えているかもしれないですけども、これはどう見ても小学校は週に 2 コマかなと思います。

○御栗区長

学校から帰らせる時間の問題もあり、小学校は遅くまで引っ張れなかったというのは 1 つあります。

○委員

だから、先ほどリーズナブルみたいな話があったけれど、中学校と小学校を比べるとちょっとどうだろうとなってしまうのかなと思います。来年度はもう決まっているのだったら、来年度は中身の話し合いは行いながらやって欲しいなと思います。やるのはいいけれども人が来ない、じゃあ、やめましょうとなった場合、問題が出てくるかなと思います。

あと、今ちょうど他の委員さんがおっしゃっていた未来会議新聞を見ていて、相生中学校の子どもたちが、「外で遊べと大人たちは言うけれど、公園では規制が厳しくて遊べない。

熱中症も心配」とあります。東成区は昔から、緑や公園が少ない地域だなというのと、公園の使い方、みんながゆっくり休めるような、遊べるような、緑も含めてちょっと考えてほしいなと思いました。他の区政会議等でも出ているのかもしれませんが。

○御栗区長

公園を作るということですか。

○委員

それと公園の使い方です。それと緑です。十数年前から24区の中で、率で表しますと下から何番目かでした東成区は。それから木をよく切っているなというイメージがあり、どんどん少なくなってきたというのがあるので、そのようなところも考えてほしいというところはあります。

○御栗区長

この件に関しては、小学生中学生と意見交換を行った際に「ボールを使わせてくれ」と必ず全員が言う話であるのですが、大阪市内はボール使用禁止になっておりますので、そこはご理解していただかないといけません。スポーツセンターを自由に使える日があるとか、そのような話も知らないということもありました。月1回や2回とかなり少ないのですが、そのようなところをもっと話をする必要があるのかなと思います。小学生の話ですと、小学校の校庭開放という形をもって多少は対応できるのかなと思います。中学校は部活動もあるので、自由に放課後、運動場で遊んでくださいという感じではないでしょうけど。色々あるのでしょうけれど。

塾の関係については、小学校の時に参加していただけていると、そのまま中学校でも参加していただけると思います。それもあり、玉津中学校で話をしたのも、東小橋小学校の児童が1人中道小学校へ行っており、大成小学校も1人は参加しており、中道小学校も2人は参加しており、別の中学校で参加している生徒もいますので、少なくとも来年度5人の生徒はいますという話をして、それではもうやらないといけないという話をしてくれた経過があります。小学校のところで参加していただける形ができると、それが中学校へ繋がっていきます。区によっては、1か所しか実施しない区もあり、各小学校では実施しない。ある小学校で代表的に実施するので、この小学校で参加してください、他の小学校では実施しませんというような建付けの区もあります。ただ、塾代助成事業が始まったので、各区で必ず最低でも1か所は塾代助成が使える、中学校は24区全部あるのですけれど、小学校は無くても、塾代助成が去年から始まっていますので、それであれば小学校も同じような形で学べるようにしたらいいのではないかと考えております。ですので、中道小学校と中本小学校以外の小学校は、その学校の児童限定ですので、いきいき教室へ行くのと同じような形で5・6年生で勉強をする児童は勉強しに行くというような流れにしております、かつ、帰る時

間があるので小学校の場合は5時くらいまでに終わってねとか色々、縛り・制限が違う部分がありますので、それも含めての形にはなっておりますけれども、中身についてはまた見たいとは思っています。ありがとうございます。

○村田教育支援担当課長代理

ありがとうございました。他にご意見、ご質問等ありますでしょうか。

○委員

質問というよりお願いですけれども、塾代助成が小学校5年生から適用されることになりましたけれども、恐らく大阪市に言わないといけないと思いましたが、高校生も出して欲しいなと切に願います。

あと、東成区民センターでPTA等色々なイベントのお手伝い等させていただいておりますが、受付のテーブルの脚がいつガタっとなるか分からない状態なので、買い替えていただきたいです。グラグラはしていませんけれども、脚がまっすぐではないので、怖いなと思います。大ホールの前に置いてある白いテーブルです。誰に言ったらいいかと聞いたら、区長ですとのことでしたのでお伝えいたしました。

○御栗区長

ありがとうございます。確認をして、言っておきます。

○委員

塾代助成についてです。東成区に言っていないのかわからないのですが、塾代助成を使っていて、申請等すごく分かりにくく、親が使うにはハードルが高いシステムだなと思います。例えばQRコードを読み込んで、申込みたいときはもっとスムーズに行くのに、実際、塾代助成を使用させていただいておりますけれども、毎月保護者がその塾に行って申請という手続きを行います。恐らく、不正を防ぐための、最良の方法であるというのはとても分かります。私のところはスポーツに塾代助成を使っており、子どもが遠くまで通っているのでそこまで月に1回行って申請をしないとけないというのは大変です。システム上の問題なので、大阪市の問題だと思いたいますがお口添えしていただけたらなと思います。私のように思っている保護者の方はいるのかなと思います。

○御栗区長

使い勝手のところは本当に色々な場で聞いております。保護者の方々からのご意見や逆に業者さん側の意見も聞いております。

○委員

塾の先生も嫌だと言っておりました。

○御栗区長

その部分は聞いておまして、都度都度話し合いは行われており、良くなっていっているとは言っていますが、まだまだ改善の余地はあるのかなと思います。所得制限の部分が外れるまでの数字しか私も詳しく聞けてはおりませんが、その段階ではおおよそ半分の世帯の方に配付できており、その世帯のうち約6割が使用できていると聞いております。クーポンがあるのに4割が使えていないという話もあり、その中で所得制限が外れた全世帯という形になりどのようになっているかは確認してみます。やはり利用率が上がらないというのは、使いづらいというのが1番聞きます。あと、タイミングの関係もあると思います。所得制限が外れたのが10月かなんかでもう塾は決まっておられるのですかね。来年度は何を習うか等、その辺りの話は少し聞いたりしました。高校生にも欲しいと出ましたけれども、下にも欲しいでしょうね。今5年生までで、5年生より上の世代なので。

○委員

4年生も欲しいです。4年生で躰き始めるので。

○御栗区長

ありがとうございます。

○村田教育支援担当課長代理

ありがとうございました。他にご意見、ご質問がある方いらっしゃいますでしょうか。

○御栗区長

SNS の関係で言いますと、警察等とお話しておりますと、最近話題の闇バイトです。これがどんどん学年が下がってきている点を警察の方は心配されておりました。その辺りも冊子に入れていくのかどうなのかはちょっとまだ見えないですけど。その辺りは、中学校の校長先生方と連携を取り持って必要であれば出前授業等で啓発させていただくというような話はさせていただいております。冊子も完成して3年ほど経つと、古くなっていくとまでは言いませんけれども、新しいテーマみたいなものがどんどん出てきているような感じもあります。また、色々お気づきの点がございましたらおっしゃっていただければと思います。よろしくお願ひしたいと思ひます。委員に言ひいただいた電子書籍も悩んでおまして、もう少し使ひてくれないかなと思ひますが、なかなかログインに時間がかかるので、朝読書で使ひえない等色々課題もあります。内容的なところも5倍くらいのお金をかけたら、もっとすごく良いシステムにはなりますがとんでもない値段になってきます。情宣の方法なども色々考へてやっておりますけれども、なかなか難しいものがあります。ご

意見がありましたら是非お願いいたします。あと、紙の本との兼ね合いもありますので、何が良いのかというのはよくわかりませんが、ただ、子どもたちを見てみると、マンガもスマホで見ているような時代で、どんどんどんどん変わっていているなど感じます。時代に合わせつつ、色々なことを吹き込んでいくのは必要なことかなと思います。是非、色々なご意見いただければと思います。よろしくお願いいたします。

公園の部分もどうにかしたいと思うのですが、大阪城東部のエリアは今から再開発していきますので、できれば緑地とか公園機能とかできるだけ沢山できればと思います。特に区内でも北中道エリアは1番公園面積が少ないというところもありますので。少し歩けば大阪城公園があるとはいえ、地域内に少ないです。できるところは色々考えてはおりますので、何か良いアイデア等あればおっしゃっていただければと思います。

#### ○村田教育支援担当課長代理

本日の資料のご説明としては以上でございますが、御栗区長からその他、ご報告や情報提供がございましたらお願いいたします。

#### ○御栗区長

もう少しお時間いただきます。2点あります。1点目は東中本小学校の方はご存じかと思いますが、東中本公園の南側に昔、朝鮮学校の初級学校があった場所に今、工事が行われておりまして、そちらの方に大阪朝鮮学校の中高級学校、中学生、高校生。今は東大阪にあるのですが、これが4月に移転して来られるという形になっております。生徒数が6学年で約350名と聞いております。地域には説明会を行ったりしております。この学校は法律上、大阪市教育委員会の所管ではない学校になります。大阪府の教育長が所管する学校になってくるのですが、そちらで許可を取られてという形になります。理事長さんも私のところにご挨拶に来られましたし、校長先生のところにも、町会長のところにも行かれています。地域活動の中には色々一緒に貢献したいということでした。今も東大阪で色々やられているようです。民族舞踊のクラブがあったりだとか、区民まつりへの参加等、ご存じの方も多いたと思います。ラグビーであるとか、サッカー、ボクシング、吹奏楽もかなり高レベルだと思います。高校は全国クラスなので、色々な形で共同といいますか、そのような形も出てくるのかなと思っております。唯一、少し心配しておりますのが自転車通学です。今までは、東大阪に学校がありましたので電車通学の子どもさんが多かったらしいですけれども、やはり生野区から通う生徒が多いようです。4月以降、入学式が18日の金曜日ですけれども、4月に入ると学校施設の関係で動き出しますので、クラブ活動等、色々な形で生徒が特に生野区方面から、南側から自転車で北上してくる子どもさんが100名ほどいらっしゃるのではないかなと聞いております。高校生・中学生になってくるので、私も自分の学校、高校時代を振り返りましたけれども、通学路という概念が特にないので、今里筋を1列

に並んでヘルメットを被って来てくれたら良いのですが、恐らくそのような形にはならないと思いますので、警察の方とも連携はしてますし、学校側には通学する際の注意事項というのは、生徒には周知していただいております。市民協働課から区内全域の地図をお渡ししまして、全部の小中学校の通学路を全て記しているものをお渡ししておりますので、できれば被らないようにというお話はさせていただきますが、この辺りは子どもさんたちの話なので、振り返って考えると、普通は行きやすいところへ集中しがちになると思います。特に4月以降、各校区でも何か大きな変化的なものはないのかというところは、見ておいていただきたいなということで、小学校中学校の先生方にもお願いはしております。警察とも連携はしておりますので、4月以降、主要な箇所には当然立っていただいて、様子を見ていただいて、指導していただいたり、場合によっては学校に行っていただいて、子どもたち向けの授業をしていただく等、当然実施していきたいと思っております。何かお気づきのところが出てきて、気になるなというところがあれば、当然学校へ言っていただいても結構ですし、区役所へ言っていただいても結構ですので、是非、ご協力をお願いしたいと思います。

それからもう1点についてです。学校の適正配置の部分ですけれども、これもこの場で毎回お話させていただいておりますが、今回の動きでいいますと、区内で特別に具体的にどうこうではないのですが、市全体的なことと言いますと、小学校の条例、ルールは一定ありましたが、中学校の条例が決議されて議会でも通っているという状況になっております。4月施行というところでまだ施行にはならないです。中学校の学校のクラスの規模でいいますと、1学年2クラス以上というのが1つ示されたようです。それでいいますと、区内4中学校ありますけれども、どの中学校も3クラス、相生中学校はたまに4クラスになったりもしておりますけれども、そのような意味では条例に関係するような学校は当面は無いのかなと思っております。というご報告が1つと個人的に気になっていることがあります。コロナ禍もありまして、子どもの数がずいぶん減ってきているのも事実であります。とても危惧しているのは、市立幼稚園、ご存じの方も沢山いらっしゃると思いますが、本当に1学年10人程度の規模になってきている幼稚園が出てきております。私が着任する前に、市立幼稚園に関しては、民営化を進めさせていただいたりとか、東成区では統廃合的なことはやっていなかったと思いますが、そういったこともここ数年議論していかないといけないというのは少し話題として出てきています。幼稚園と保育園と機能も違いますので、比べようもないとは思いますが、3歳児クラスが無かったりだとか、お預かりする時間が短かったりだとか、色々機能も違う部分もありますが、そのような部分も何とかできないのかと、こども教育部会で話しておりますが、適正配置という観点からいいますと、少し気になるころではあります。具体的にどこがどうというのはこれから先になります。以上を踏まえて、何かご質問等ありましたら、よろしく願いいたします。

○村田教育支援担当課長代理

他にご意見、ご質問等ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、本日の議題につきましては以上で終了でございます。本日頂戴しましたみなさまのご意見を教育施策に生かしていけるよう取り組んでまいります。

本日は長時間、誠にありがとうございました。